

あなたの意見を
市政のために

弘前市都市計画審議会の委員募集

弘前市都市計画審議会は、都市計画法の規定に基づき設置される審議会で、主に市が都市計画を定める場合に、その都市計画案について調査・審議する機関です。都市計画審議会の公正な運営の確保と透明性の向上ならびに、広く市民の皆さんから意見をいただくため、委員を募集します。

▼応募資格 応募時点で満20歳以上の市民（市の他の審議会などの委員、市議会議員、市職員（退職者を含む）を除く）

▼募集人員 2人

▼募集期間 11月1日（金）～12月2日（月・必着）

▼任期・会議の開催 任期は2年間、会議は平日の日中に開催予定

▼報酬など 会議1回の出席につき、報酬1万円と交通費を支給

▼応募方法 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参、ファックスまたはEメール（添付ファイル）

対象の人は受診
しましょう

JA つがる弘前各支店でがん検診や特定健診等 が受けられます

▼とき ①12月11日（水）、②12日（木）、
③18日（水）
※受付時間はいずれも午前8時15分～9時。

▼ところ ①JA つがる弘前本店（城東北4丁目）
②JA つがる弘前 弘前西支店（町田字沖田）③
JA つがる弘前 弘前北支店（青女子字桜苅）

▼定員 各会場20人

▼内容 20・30代健診／胃がん、肺がん、大腸

ルは1メガバイト程度まで）で提出を。持参の場合は平日の午前8時30分～午後5時まで。

①住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・職業・電話番号

②志望動機、抱負、都市計画に関連したまちづくりの経験などの自己PR（400字程度）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市ホームページに掲載しているほか、都市計画課、岩木・相馬総合支所、各出張所で配布します。なお、応募用紙は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

▼選考結果 結果は応募者全員に通知します。

※委員に選任された人の氏名は、委員名簿に登載され、市ホームページなどで公開されます。

■問い合わせ・提出先 都市計画課（市役所3階、

〒036-8551、上白銀町1の1、☎ 35-1134、
ファックス35-3765、Eメールtoshikeikaku@
city.hirosaki.lg.jp）

弘前っ子の作品 Vol. 7

平成30年度弘前地区小・中学校美術展で受賞した作品を広報ひろさきで10回に分けて紹介します。子どもたちの夢、楽しい思い出、豊かな心をご覧ください。

■問い合わせ先
教育センター
(☎ 26-4803)

私の好きな花とりんごの装飾で、表面をなめらかに仕上げました。



こばやし
かな
さん
小林 加奈
(第四中学校)



タイトル 花りんご小物入れ

弘前市誕生130周年特別企画 懐かしの風景 —あの場所はいま—



▲明治後期～大正期頃

市内を練り歩く「お山参詣」の様子。手前は草に覆われた水のない弘前城跡の外濠です。その奥には明治39年（1906）に建てられた弘前市立図書館の円形屋根と東奥義塾の建物が見えます。



▲現在

手前は現在弘前市役所に面した弘前城の外濠です。濠沿いには桜の木が植えられています。奥には市立観光館と弘前図書館が見えます。毎日、多くの市民と観光客が濠沿いを行き交います。

地域おこし協力隊の活動報告 File.8

地域活性化のために日々活動している「地域おこし協力隊」の隊員の活動を毎月紹介します。

■問い合わせ先 企画課（☎ 40-0632）

私は東京都の短大を卒業し、都内のスポーツメーカーに勤めていました。弘前出身の夫と結婚し、夫の仕事の都合で千葉に移り住んでからは出産を機に退社。「子どもに関わるのは今しかない！」と思い、幼稚園入園前は子育て支援センターに通い、入園後はバザー役員や母親有志の団体、謝恩会練習などに関わり、多い時は週3回ほど保護者の活動で園に通っていました。



夫の弘前愛にすっかり感化された私は、彼がUターンを決めた頃から、私も弘前で働く人達を盛り上げたい！自然豊かな土地で子育てがしたい！と相馬地区協力隊に応募し、弘前に移住しました。

協力隊となり衝撃だったのはお山参詣でした。初めてこの行事を知り、その素晴らしさに驚きました。相馬の風景の美しさ！登山囃子と旗担ぎの男性方の

私は、今年4月から活動を始めました。これまでを振り返りながら、地域づくりへの思いをつづります。

地域おこし協力隊（相馬地区）

石田有希子さん
(東京都出身)



格好良さ！御幣のヒバの香り！神聖な雰囲気の岩木山神社！参加しないと分からない感動がありました。こんな伝統行事のある土地で育つ子どもたちは、とても恵まれていると思います。しっかり地区行事に関わることで、将来、自信を持って地元の話ができる人になれると思います。我が家は来年のねぶたとお山参詣に備えて、笛や鉦（かね）、太鼓などの技を身につけたいと、子どもたちと相馬の登山囃子愛好会に入会を決めました。

また、この夏、JA相馬村に就労中のベトナム人女性たちと“ベトナム家庭料理を作ろう会”を実施しました。相馬こども園支援センターの保育士さんにもご協力頂き、遊びと調理を通じて、地元のお母さん方とその子どもたち・ベトナム人の方々が相互に交流することができました。

これから先も、相馬でさまざまなことを発見し、地元の人と一緒に、楽しみ、盛り上げていきたいです！

